

## カプリ、ポンペイ、ナポリ

3泊4日の旅でした。今回は日記調にまとめてみました。

7月9日(木):

朝の9時半発のアリタリアで、ミラノ・リナーテ空港からナポリ空港まで。所要時間1時間20分で、10時50分にナポリ空港着。空港からタクシーでカプリ行きの船が出るベヴェレッコ港まで。タクシーのメーターは15ユーロでしたが、エアポートタクシーなので、プラス10ユーロを取られ合計25ユーロでした。帰りに、ナポリ中央駅から空港まで、バスで3ユーロでしたので、この25ユーロは、ぼられたのではないかと思います。

港から11時55分発のジェット船でカプリに向かい、45分くらいでカプリに到着。カプリの港(マリーナグランデ)に着くや否や青の洞窟の船の切符売り場に行きましたが、残念ながら青の洞窟は高波でクローズ。ツアーインフォメーションに行き、日本語の地図とガイドブック(4ユーロ)と、明日の朝に期待して、青の洞窟の遊覧船の電話番号を入手。その後、港のカフェでピザ1枚(マルゲリータ)と生ジュースとカプチーノ(16ユーロ)を食べながら計画の練り直し。観光地なのにピザは中々美味しかった。港周辺を散策すると港の横は海水浴場で、イモ洗い状態でした。



ケーブルカー(1.4ユーロ)でカプリの街まで行き、ジェラートを食べながらブランド街を歩いて、そのままホテル(4つ星です)に行きチェックイン。荷物を置いただけで直ぐに、ホテルを出て、海岸通りを散歩。広場にはカフェ、道の脇には土産物屋、高級ブランドのブティック、ジェラート屋が並んでいます。道行く人はリゾートに来た客と、店の人がホテルの人だけです。狭い道には車は通れませんが、荷物を運ぶ電気自動車が頻繁に通っています。海岸線の景色は最高です。海と空の青、丘の緑とたくさんのきれいな花、断崖絶壁の岩と真っ白な壁の家(高級ホテルかお金持ちの別荘)、どれをとっても一級品です。生きてるうちにカプリに来て良かったと感じます。海辺のがけっぶちにある高級ホテルはどれも5つ星以上で、お客の荷物は、ホテルが港から運んでくれるようです。まさに、お金持ちのリゾート地です。



カプリの街を散歩した後、バスで隣町のアナカプリへ。なんでも価格が高いカプリにあって、ケーブルカーとバスは、1.4 ユーロと格安です。アナカプリには、山頂に向かうリフト(飽きるほど長い)があり、カプリ島の一番高いところまで行く事が出来ます。そこからの眺めは最高です。アナカプリの街は観光地ですが、カプリの街と違ってちゃんと住んでいる人がいます。マーケットも教会もあり庶民の匂いを感じられほっとします。街の中にはきれいな絵が描かれているタイルがあちこちにあります。教会の床もタイルにエデンの園がきれいに描かれていました。土産物屋にも絵の書かれたタイルがありますので、敢えて言えばこれがカプリの名物かもしれません。



カプリに戻って、高級レストランで夕食。ここでは、お金持ちの仲間入りです。日本人観光客が多いせいか、土産物屋もレストランの従業員も、日本語がぽんぽんと出てきます。やはり、日本人は

高いお金を払ってくれるんですね。レストランは景色の良くみえる道の端にある席でした。ワインにシーフードは最高とは行かないまでも満足の行く味でした。でも、金額を見てびっくり。1人前程度しかたのんでないのに、120ユーロ弱でした。高級というべきか、ぼったくりというべきか迷う値段と味でした。食事の後は夜の修道院へ行き、そこでやっていた学芸会を見てホテルに帰還。



**7月10日(金):**

朝 8 時過ぎから港に行き、青の洞窟の遊覧船へ直行したのですが、この日もクローズでした。青の洞窟は、ナポリから通うことにして、9 時のジェット船でナポリへ。ナポリに着くと港のそばのホテルへ直行。まだ、10 時なので荷物を預けるだけのつもりが、部屋は空いているから使って良いとのことなので、チェックインして荷物を置き直ぐにバス(1ユーロ)でナポリ中央駅へ。

ポンペイ行きの切符を購入し、ポンペイへ約 40 分の列車の旅。お昼過ぎにポンペイに到着。入場口は、観光客で一杯でした。話には聞いていましたが、まず、その大きさにびっくり。この暑いのに、ここを歩くのかと思っただけで疲れが出てくるようでした。でも、お年寄も歩いているので、そんな事は言われません。適当にコースを決めて歩くこと約 3 時間。80%くらいは回りました。ローマのフォロマーノの 5 倍はあるでしょう。最初は感動していましたが、最後のほうは義務感だけで見て回ったような気がします。遺跡見学を終えて、ポンペイの駅の近くでエネルギーの補給です。パニーニとサラダは、屋台のレストランとは思えない味で満足でした。





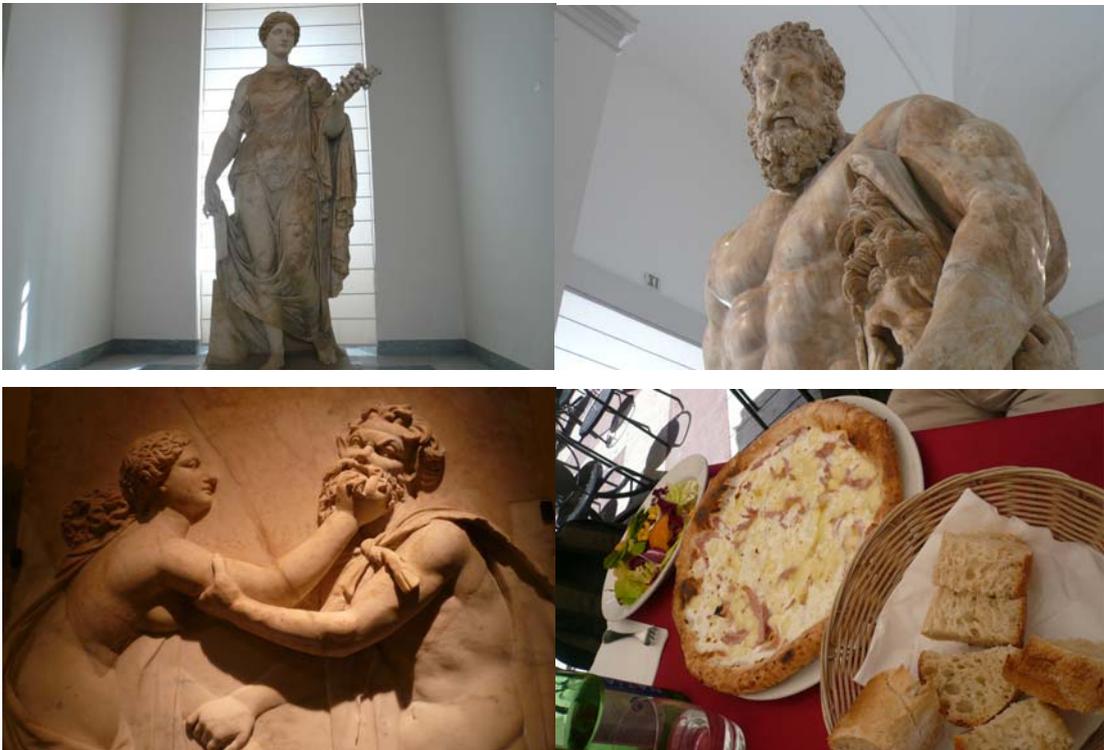
列車でナポリに戻り、疲れた足を引きずりながら、ナポリの下町を歩き回りました。何故か、慣れ親しんだ東南アジアの匂いのする懐かしい景色です。ゴミは捨て放題、どこに行っても人は一杯、狭い路地裏に3人乗りの2輪車と車のクラクション、落書きと犬の糞、汚いビルにかけてある洗濯物。どれをとっても、香港の九龍あたりの景色です。懐かしいわけです。何故か、こういうところに来るとほっとします。東南アジアと一つ大きく違うのは教会です。いたるところに教会があり、教会に入ると、外の汚れと喧騒とは別世界です。静寂な雰囲気と豪華な絵画、フレスコ画、ステンドグラスと彫刻は半端ではありません。やはりここは、ヨーロッパなんだと実感します。途中で、ジェラートを食べながら、庶民の味を買い込んでホテルまで戻り、ホテルのそばのカフェでコーヒーをテイクアウトし、ホテルの部屋でナポリ庶民の味を楽しみました。昨夜の高級レストランとは対照的な夕食でした。





7月11日(土):

昨日の歩いた距離は半端ではなく朝起きると足が痛い。まず、カプリ島のインフォメーションに電話を入れると今日も青の洞窟はクローズでした。痛い足を引きずりながらナポリの街へ。まず、ホテルからそれほど遠くないガイドブックが推薦する考古学博物館まで歩く。ここも“凄い”の一言。大きなギリシャの神々の彫刻、と昨日の復習でポンペイの遺跡から運ばれた遺品の数々。これでもかと思えて来ました。足の痛いのも忘れて歩くこと2時間強。出てきたら、ちょうどお昼で、博物館そばのガレリアを抜けて、観光客好みのカフェに入り、直ぐにピザを注文。ここのシェフのお勧めピザは合格点。やはり、ピザはナポリが一番。



それから、また、汚い下町へ繰り出し、昨日素通りした教会を見学。ナポリの教会の数はミラノを

はるかにしのぎます。それも大きな教会ばかり。入った教会の地下には、ローマ遺跡があり、そこも見学。但し、地下はここだけで無く、入口が数ヶ所あります。カタログを見ると、ナポリの地下は、ローマ時代の水道、劇場とその地下設備など、ローマ遺跡の宝庫とのこと。興味は湧いたが、昨日はローマ遺跡をいやっというほど見ているし、一つ見れば、他も同じとの考えで、他は見ずにホテルに戻って一休みとしました。



ホテルで一休みをすると、元気回復して、夕方の街へと繰り出した。ホテル近くのお城と宮殿に向かい、豪華な宮殿を足早に見学。そして、繁華街へ繰り出す。土曜日夕方(と言っても7時半ころ)の繁華街は、すごい人の波で、ナポリの人口の多さを実感。ここも、サルディなのです。



ひと通り、繁華街を見て回り、夕暮れの海を見に海岸へ。太陽に沈む直前の海はいいものです。ナポリ湾から、ヴェスビオ火山とカプリ島のシルエットは最高でした。例によって、もう見馴れましたが、イタリア人カップルがいっぱいです。そのまま、海岸線をサンタルチアへ向かい。岬の先の卵城に吸い込まれるように入っていくと、予想通り、卵城の周辺は、海の見えるレストランが並んでました。観光客には、どのレストランが美味しいのか難しいのですが、比較的客の入ってるレストランを選んで直ぐに座り注文。直ぐに回りに人があふれ出し、店は超満員で机と椅子を急遽増やす状況になり、大正解でした。シーフード料理も店のムードも最高。値段もリーズナブル。お腹も一杯で満足してホテルに戻りました。ナポリに来たら、サンタルチアで夕食ははずせません。



7月12日(日):

最後のチャンスでカプリに電話すると、今日も青の洞窟はクローズ。ここまで来るとショックはありません。また、ナポリに来る理由が出来たくらい前向きに捉えていました。今日もナポリの街は快晴です。ガイドブックに載っていた第2次世界大戦で壊れて修復された修道院へ。ホテルの窓から見えていた修道院で、きれいに修復されていました。次に、ケーブルカーで丘の上の教会とお城へと向かいました。大して期待はしていなかったのですが、中々の観光名所でした。またまた、お城の城壁の上から、ナポリの街、山と海を見渡し、やはり、ナポリは街と山と海を遠くから眺めるのが一番と確信しました。遠くからなら、汚い街もきれいに見えます。まさに、“ナポリを見てから死ね”です。但し、丘の上の街は、ゴミも無くきれいでした。やはり、丘の上は山の手であり、高級住宅街なのでしょう。住んでる人も背が高くミラノのイタリア人みたいです。やはり、ナポリの下町は別の国(こっちが本当のイタリア?)かもしれません。





城壁からのきれいな景色でこの旅を終わりにしたかったのですが、現実にはそうは行かず、また、あの懐かしい匂いのする汚い街を通り抜けました。ナポリの歴史地区は世界遺産ですが、個人的にはこの汚い下町とそこに住むナポリ人(すりは除く)の人情こそが世界遺産だと思います。ナポリ最後のランチはやはりピザとなりました。ミラノにもあるソロピザ(ナポリ本店)という名のチェーン店です。12種類の味のピザは中々の物でした。



食事の後、バスでナポリ中央駅へ行き、そこからバスで空港へ。空港行きのバスは、たった3ユーロでエアコンつき、それに、空港まではわずかに20分でした。ナポリに着いたときのあのタクシーは何だったのか。近道といいながら、バスよりも時間がかかり、15ユーロの料金に10ユーロを上乗せして払わされ、完全に、ぼったくりと確信しました。ナポリは、タクシー以外の交通機関は、ミラノと同様に格安です。但し、ミラノよりも多少リスクは大きいかもしれません。でも、タクシーよりはましです。

そんな訳で、夕方6時に無事にリナーテに到着。リナーテから、公共交通で何とかサンドナートまで帰れないものかと探しましたが、バスでミラノ市内に出るしかなく、クラウンプラザのシャトルバスも見当たらず、仕方なくタクシーで帰りました。でも、15分で料金も20ユーロ弱ですからナポリよりはずっとましです。

今回ナポリでは、ぼったくりはありましたが怖い目にはあいませんでした。ナポリのすりはイタリア

でも有名で、イタリア人でも警戒しているとのこと。すりに会うとせっかくの楽しい気分も台無しです。実際に、すりらしき人も 2 度ほど見かけました。何事も起こらずに済んだ今回は良い旅行だったと思います。

### あとがき

後から気づいたのですが、ナポリに行ったら、直ぐにカンパーニャ・アルテカードを購入すると、観光に便利な上はかなりお得とのこと。3 日間で、ナポリ内だけの 13 ユーロとポンペイまでをカバーする 25 ユーロの 2 種類がある。13 ユーロのアルテカードでは公共交通の費用と 2 つまでの入場料が無料、25 ユーロのアルテカードでは、それにポンペイまでの交通費と入場料が含まれる。他の加盟美術館も半額で OK。従って、入場料は 8~12 ユーロなので、入場料だけでも、元は取れるようになっているとのこと。カードはアルテカードの表示のあるタバッキや空港、駅で購入できるので、空港又は中央駅について直ぐに購入するとかなりお得となります。

### 乗り物の写真(おまけ)

ナポリの交通機関です。もちろん、市内にはバスと地下鉄路線があります。



カプリ島への船



ケーブルカー



ポンペイ行きの列車



ナポリの馬車